

第2回山形県スポーツ推進審議会（書面開催） 議事概要

主な御意見

○ 山形県スポーツ推進条例では、スポーツを「する」「みる」「きく」「ささえる」の視点を挙げているが、中間案では「する」視点が強く打ち出されており、「ささえる」喜びや充実感を醸成させ、スポーツへの関与を推進する具体策も必要と感じた。

○ スポーツにある「身体運動文化」としての面を強調していくことが重要であり、スポーツに対してもう少し広い視点での「身体活動」の施策展開が必要であるように感じた。例えば、花笠音頭から発生した「花笠まつり」や村山市の居合道など、地域資源として既にある身体運動文化に目を向けた施策の方向性も考えることで、観光資源とスポーツの推進とがリンクしていけるように思う。スポーツ推進の目的の一つに身体運動文化の活用・継承・発展・アピール等が含まれていくことは、本県のスポーツ推進の「する」「みる」「きく」「ささえる」交流人口の拡大に寄与できると考える。

○ 第1回審議会でも「スポーツドクター間の情報交換、情報共有の場がない」ことが問題であると発言したが、スポーツドクター、スポーツトレーナー、指導者も含めた専門職の育成のみならず、育成後のアップデートが必要と感じた。

○ 例えば部活動の地域移行や競技力向上の面で「指導者」が課題になっているとすれば、数値目標として「日スポ公認資格取得者数」や「地域クラブ等指導者研修受講者数」、「リーダーバンク登録者数」等が必要ではないか。

○ 基本方針1(1)③「スポーツボランティア活動の普及・促進」に係る取組みについて、取組み内容(例)に記載してはどうか。

○ 「総合型クラブ利用者数(延べ)」や子どもの体力の向上に関わる数値目標があってもいいのではないか。

○ 基本方針3「国内外で活躍できるアスリートの育成等と競技力の向上」等と関連して、「蔵王坊平アスリートヴィレッジ」の利活用について記載してはどうか。

○ 基本方針2(2)「学校におけるスポーツ活動の充実」の取組みについて、昨年度本県で49年振りに開催された全国学校体育研究大会山形大会の成果を踏まえた表現にしてはどうか。

○ 基本方針3「国内外で活躍できるアスリートの育成等と競技力の向上」について、障がいのあるパラアスリートへの支援やパラリンピックに向けた取組み等も同様に実施することを検討してはどうか。

○ 年齢区分別のスポーツ実施率など詳細の分析について記載してはどうか。

○ 数値目標として、国民スポーツ大会の順位はあるが、全国障害者スポーツ大会についても明記する必要があるのではないか。

○ 障がい者が地域でスポーツができる環境の整備状況を把握し、目標値を設定する必要があるのではないか。

○ 基本方針4(1)に障がい者スポーツについて特化して提示されているが、基本方針1～3全てに障がいのある方も含めた誰もが参加できる観点での機会の創出と環境整備が必要ではないか。

○ 基本方針2(1)「多様な主体が連携した子どものスポーツ機会の充実」の取組みが弱いように感じる。

○ 「YAMAGATAドリームキッズ(在籍・修了生)の全国大会(アジア・世界大会を含む)入賞種目数」について、ドリームキッズだけではない全競技のすべての国際大会出場者数及びに全国大会入賞数等の目標を定めたほうが良いのではないか。